

動物考古学Ⅰ

科目ナンバリング ARC-215
選択 2単位

植月 学

1. 授業の概要(ねらい)

動物考古学とは遺跡から出土する動物遺体(貝殻や骨など)をもとに、過去の生活や環境を研究する学問分野です。本講義では様々な動物を取り上げ、人との関わり合いの歴史を紹介します。考古学だけでなく、必要に応じて歴史学や民俗学・民族学、種々の化学分析など、関連する分野の方法や成果についても解説します。

2. 授業の到達目標

動物との関係という新たな視点から歴史を捉え直すことで、現代社会やこれからの社会について考える力を身につける。

3. 成績評価の方法および基準

毎回終了後に実施する小テストの合計点により評価します。提出遅延は減点となります。

4. 教科書・参考文献

参考文献

西本豊弘ほか編 人と動物の日本史 吉川弘文館
設楽博己編 十二支になった動物たちの考古学 新泉社

5. 準備学修の内容

毎回資料を配付しますので、小テストに向けて予習をしておいてください。

6. その他履修上の注意事項

考古・歴史、生物の両方に関係するテーマを取り上げます。なるべく予備知識がなくても理解できるように進めますが、幅広い関心を持って臨んでください。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス 骨は語る
- 【第2回】 イヌ(1) 最古の家畜(旧石器～縄文時代)
- 【第3回】 イヌ(2) 関係の変化(弥生時代以降)
- 【第4回】 ネズミとネコ(1) 害獣から探る暮らしの変化
- 【第5回】 ネズミとネコ(2) 日本史の中のネズミとネコ
- 【第6回】 ウマ(1) 世界史を動かした動物
- 【第7回】 ウマ(2) 古墳時代の高級車
- 【第8回】 ウマ(3) 武士と馬
- 【第9回】 ウシ ミルクの歴史
- 【第10回】 シカとイノシシ 縄文から弥生への変化
- 【第11回】 ブタ(1) 家畜化を探る
- 【第12回】 ブタ(2) 日本史の中のブタ
- 【第13回】 ヒツジとヤギ キルギスの動物考古学
- 【第14回】 オオカミ(1) 狼信仰の広がりに関する
- 【第15回】 オオカミ(2) 害獣、そして絶滅へ